

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム 事業実施計画

(令和5年2月15日改訂)

(令和4年7月27日改訂)

(令和4年2月16日改訂)

(令和3年7月21日改訂)

(令和3年2月16日改訂)

(令和2年7月29日改訂)

(令和2年2月13日策定)

【目次】

| | |
|--|----|
| はじめに | 1 |
| I. 計画の策定趣旨等 | |
| 1. 計画の策定趣旨 | 2 |
| 2. 計画の位置づけ | 2 |
| 3. 計画の推進体制 | 2 |
| 4. 計画の期間 | 2 |
| 5. 計画の目標及びK P I | |
| (1) 目標 | 2 |
| (2) K P I | 3 |
| 6. 計画の進行管理 | 4 |
| II. 就職氷河期世代の現状と支援ニーズ | |
| 1. 就職氷河期世代の中心となる 35 歳～44 歳の雇用形態等現状の内訳 | 5 |
| 2. 愛知労働局独自に行ったアンケート調査結果 | 5 |
| 3. 愛知県で行った「ひきこもり」に関するアンケート調査結果 | 6 |
| III. 具体的な取組事項等 | |
| 1. 社会気運の醸成・効果的な周知広報に向けた取組 | |
| (1) 社会気運の醸成 | 7 |
| (2) 就職氷河期世代、一人一人につながる積極的な周知広報 | 7 |
| 2. 安定就職に向けた取組（不安定な就労状態にある方への支援） | |
| (1) 相談体制の整備・充実 | 7 |
| (2) 雇用機会の拡大・正社員転換等の促進 | 9 |
| (3) 職業訓練・リカレント教育の推進 | 10 |
| (4) 多様な働き方への対応 | 11 |
| (5) 職場定着への支援 | 12 |
| 3. 職業的自立の実現に向けた基盤整備に資する取組（長期にわたり無業の 状態にある方への支援） | |
| (1) 相談体制の整備・充実 | 12 |
| (2) 職業的自立への支援 | 13 |
| (3) 職場定着への支援 | 13 |
| 4. 社会参加の実現に向けた取組（社会参加に向けた支援を必要とする方への 支援） | |
| (1) 市町村 P F との連携 | 13 |
| (2) 相談支援体制の充実 | 14 |
| (3) 本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供 | 14 |
| (4) 支援者の資質向上 | 14 |
| 工程表 | 別表 |

はじめに

人口減少や少子高齢化の急速な進展は、我が国にとって、平成から令和に引き継がれた中長期的な課題であることは言うまでもなく、それらに起因する、地域における人手不足や社会保障費の膨張などの諸課題は、ますます深刻化しています。

今後とも我が国が持続的に発展していくためには、誰一人取り残すことのない、全ての人が、それぞれの力を発揮し、活躍できる社会を築いていく必要があります。

とりわけ、バブル崩壊後の景気後退期と学校卒業期が重なった世代である、いわゆる「就職氷河期世代」は、企業が新規学卒者の採用を大幅に手控えた影響を受けて、現在、正規雇用を希望しながらも不本意に有期雇用や派遣などの雇用形態にある方、就職を希望しながらも長期間無業状態にある方、社会とのつながり作りなど社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする方が、約100万人いるものと見込まれています。

こうした状況の中で、令和元年6月21日に閣議決定された「骨太方針2019」では、「就職氷河期世代支援プログラム」として、同世代の活躍の場を更に広げるための3年間の集中的な取組が明記されるとともに、同プログラムを着実に実行するため、同年12月23日に「就職氷河期世代支援に関する行動計画2019」が関係府省会議で決定されたところです。

本県においても、同年10月9日に「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を設置し、官民一体となって支援に取り組むこととしました。

就職氷河期世代は、その就職期が厳しい経済状況にあったが故に、一人一人の意思等によらず、未就職、不安定就労等を余儀なくされ、引き続きその影響を受けている方々であり、一人でも多くの方が希望する就職や社会参加の場を得て、活躍していただくためには、厚い産業集積と安定した雇用環境を有している本県が、就職氷河期世代への支援において大きな役割を果たしていかなければなりません。

「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」では、様々な状況に置かれている方々が自ら望む形で就職や社会参加を実現できる社会づくりに向けて、令和4年度までの3年間の集中取組期間である「第一ステージ」に加え、令和5年から2年間を「第二ステージ」と位置付け事業実施計画を策定し、地域を挙げて支援していくこととします。

<就職氷河期世代>とは

概ね平成5年から平成16年までに学校卒業期を迎えた世代を指す。

I. 計画の策定趣旨等

1. 計画の策定趣旨

就職氷河期世代が抱える課題や今後の人材ニーズを踏まえ、官民が一人一人の状況に応じた支援を主体的に取り組むことにより、就職氷河期世代の就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現を目指す。

2. 計画の位置づけ

政府の「就職氷河期世代支援プログラム」及び「就職氷河期世代支援に関する行動計画2019」等を踏まえ、本県における就職氷河期世代に対する支援に関する総合的な計画を策定する。

3. 計画の推進体制

愛知労働局、愛知県、県内市町村、関係行政機関、経済団体、労働団体、業界団体、支援団体等を構成員として、愛知県内の就職氷河期世代の活躍支援策の取りまとめ、進捗管理等を統括する「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「あいちPF」という。）を設置し、これらの構成員が一体となって福祉と就労をつなぐ地域レベルのプラットフォーム（以下「市町村PF」という。）と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、就職氷河期世代に対する取組を推進する。

4. 計画の期間

令和2年度から令和6年度までとする。

ただし、本県は都道府県プラットフォームのモデル実施地域に選定されているため、令和元年度より就職氷河期世代が抱える課題の把握や周知広報などを上記の期間に先行して実施するものとする。

5. 計画の目標及びKPI

(1) 目標

就職氷河期世代（「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」及び「社会参加に向けた支援を必要とする方」）の希望に応じた支援を通じ、正規雇用者を17,700人（1年間で5,900人）（注）増やすことを目標（値）とする。

また、「長期にわたり無業の状態にある方」については、これまで就職したことがない方も含まれているため、以前より支援を行ってきた地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を活用して当事者や家族の希望に応じ、求職活動へ踏み出す支援、就労その他の職業的自立支援につなげることを目標とする。

さらに、「社会参加に向けた支援を必要とする方」については、一人一人の状況

に合わせた、就労に限らない多様な社会参加に向けた支援体制の充実を目指すこととする。

(注)「就業構造基本統計調査(2017年)」における35歳から44歳までの不安定就労者数は、全国で約54万人、うち愛知県は約3万人(約5.9%)であることから、「就職氷河期世代支援プログラム」の目標である30万人の約5.9%に当たる17,700人とする。

(2) K P I

(1) で設定した目標を達成するため、個々の取組に対して可能な範囲でK P I (注)を設定することとする。

なお、個々の取組のK P Iは別表の工程表のとおり。

(注)重要業績評価指標(Key Performance Indicator)の略称。目標達成度合いを測る補助指標のこと。

【参考】

「経済財政運営と改革の基本方針2019」(令和元年6月21日閣議決定)

＜就職氷河期世代支援プログラム＞

- 正規雇用を希望していながら不本意に非正規雇用で働く者(少なくとも50万人)、就業を希望しながら様々な事情により求職活動をしていない長期無業者、社会とのつながりを作り、社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする者などに対し、現状よりも良い待遇、そもそも働くことや社会参加を促す中で、同世代の正規雇用者については、30万人増やすことを目指す。

「就職氷河期世代支援に関する行動計画2019」

(令和元年12月23日就職氷河期世代支援に関する関係府省会議決定)

「就職氷河期世代支援に関する行動計画2020」

(令和2年12月25日就職氷河期世代支援に関する関係府省会議決定)

「就職氷河期世代支援に関する行動計画2021」

(令和3年12月24日就職氷河期世代支援に関する関係府省会議決定)

「就職氷河期世代支援に関する新行動計画2023」

(令和4年12月27日就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議決定)

- 令和2年から令和4年度までの3年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和5年度からの2年間の「第二ステージ」と位置付け、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援に取り組み、成果の積み上げを図る。また、支援プログラムにおける就職氷河期世代の正規雇用者30万人増加の目標の進捗状況を評価するため、本格的な支援策の実施前である2019年平均の正規雇用者数を基準値とし、5年後の2024年平均の正社員雇用者数が、当該基準値から30万人

増加していることを目標とする。

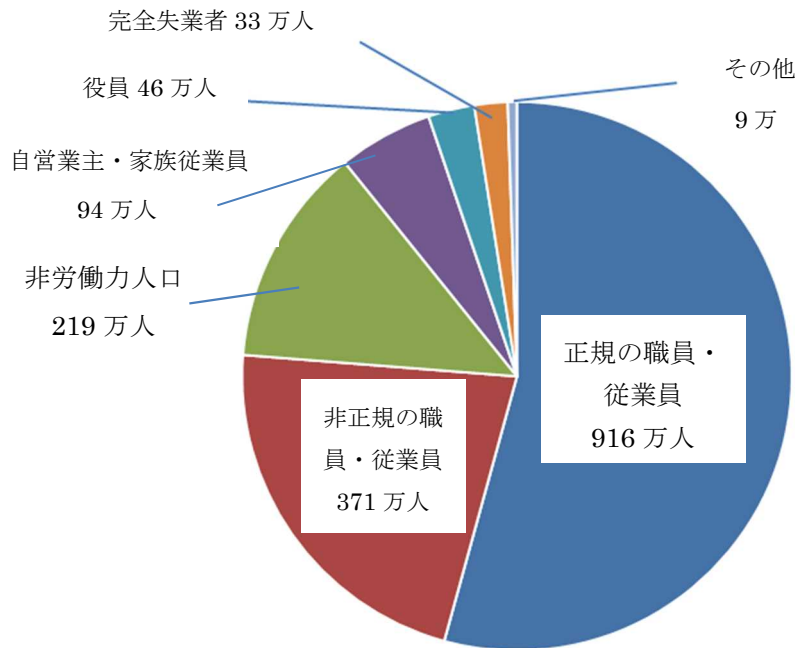
- また、健康面の不安や自信が持てないといった理由などのために長期にわたって就業も求職活動もしていない方や、長期にわたりひきこもりの状態にある方をはじめ社会参加に向けたより丁寧な支援を必要とする方に対しては、一人でも多くの方々が、希望に応じ、そもそも働くことや社会参加ができるよう、雇用の場を含めて社会とのより太いつながりが生まれることを目指す。

6. 計画の進行管理

本計画の着実な推進のため、別表の工程表により進行管理を行うこととし、工程表に記載する取組の進捗状況を確認し、次年度以降の施策の推進に努めるものとする。

Ⅱ. 就職氷河期世代の現状と支援ニーズ

1. 就職氷河期世代の中心となる35～44歳の雇用形態等現状の内訳（2018年：1,689万人）



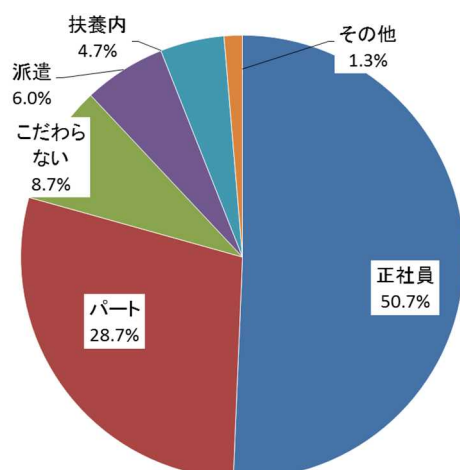
※「労働力調査基本集計（2018年平均）（総務省統計局）」に基づき内閣府が作成。各項目万人単位のため、端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

2. 愛知労働局独自に行ったアンケート調査結果

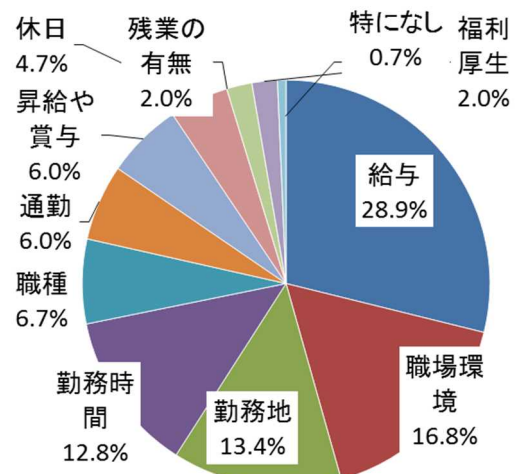
愛知労働局では2019年11月にインターネット上で、愛知県内に勤務する在職者746人を対象に就業意識調査を実施した。

うち就職氷河期世代383人中（35歳～54歳）不安定就労をしている150人から得た回答結果を見ると、働き方としては、半数が「正社員」を希望しており、求職活動する際に「給与」「職場環境」を重視している人が多い。

(1) 就職における働き方の希望



(2) 求職活動で重視する点



3. 愛知県で行った「ひきこもり」に関するアンケート調査結果

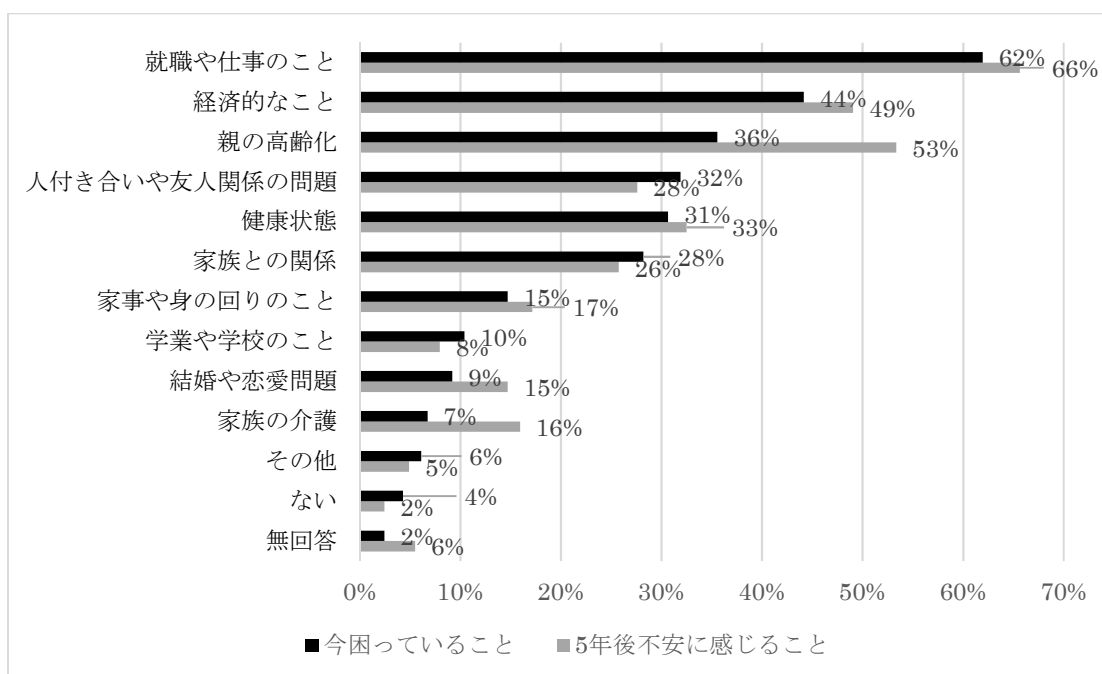
愛知県では平成29（2017）年8月から9月に愛知県内のひきこもり支援団体による支援を受けているひきこもり当事者又はその家族を対象にひきこもりに関するアンケートを実施した（調査対象年齢は就職氷河期世代に限らない）。

26団体計163人から回答を得た調査の結果によると、今困っていることは何か、5年後の状況について不安を感じることは何かとの問いに、「就職や仕事のこと」と回答した方は6割を超え、その他にも「経済的なこと」や「親の高齢化」、「人付き合いや友人関係の問題」など多様な悩みを抱えている。

ひきこもりに関するアンケート調査（2017年度）

問 今、困っていることは何ですか。

5年後の状況について、不安を感じることは何ですか。



～当事者・家族の声～

- ・フルタイムではなく、短時間での体験から始めるなど、段階的な就労支援があるといい。
（本人・男性）
- ・本人にとって相談することはとてもハードルが高い。支援機関側からどのような相談に乗れるかなどアピールしてほしい。（本人・女性）
- ・親などに対するサポート体制として、何でも話せる場所がほしい。（父親）

Ⅲ. 具体的な取組事項等

1. 社会気運の醸成・効果的な周知広報に向けた取組

(1) 社会気運の醸成【全機関・全団体】

あいちPFが中心となって、社会全体で就職氷河期世代の就職や正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加を支援する気運の醸成を図る取組を推進する。

<具体的な取組>

- ・あいちPFで採択した「あいち就職氷河期世代応援宣言」を広く周知【全機関・全団体】
- ・就職氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保や就職面接会等への積極的な参加の勧奨【愛知労働局・県・経済団体・業界団体】
- ・就職氷河期世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な実施の働きかけ【愛知労働局・県・経済団体・労働団体】

(2) 就職氷河期世代、一人一人につながる積極的な周知広報【全機関・全団体】

就職氷河期世代の安定就職・社会参加に向けて社会全体で支援するというメッセージを、本人だけでなく家族や関係者に効果的に伝え、具体的な行動を促すため、あいちPFで取り組む支援施策について、あらゆるルートを通じた積極的な広報を展開する。

<具体的な取組>

- ・あいちPFで採択した「あいち就職氷河期世代応援宣言」を広く周知【全機関・全団体】（再掲）
- ・広報誌、ホームページ、SNS等による周知【全機関・全団体】
- ・コンビニエンスストア、スーパーマーケット、図書館等を活用した広報の実施【県】

2. 安定就職に向けた取組（不安定な就労状態にある方への支援）

(1) 相談体制の整備・充実

ア ハローワークの需給調整機能を活用した就労支援【愛知労働局】

就職氷河期世代求職者の多様なニーズに対応した、課題解決支援サービスを職業相談の中心として行うこととし、求人者へ直接働きかけ、限定求人・歓迎求人の開拓をすることで、同世代の就職の場を確保するとともに、求職者に対して情報提供をし、マッチングを行う。

<具体的な取組>

- ・就職氷河期世代を対象とした限定求人、歓迎求人の開拓・確保
- ・就職氷河期世代を対象とした就職面接会の開催

イ ハローワークに専門窓口を設置、担当者によるチーム支援を実施【愛知労働局】

ハローワークに専門窓口を設置し、不安定な就労状態にある方一人一人が抱えている複雑な課題や置かれている状況を踏まえ、ハローワークの就労・生活支援アド

バイザーが、個々人に即した、生活設計面から就職、その後の定着支援までの職業相談を行う。加えて新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、求めに応じてオンラインを活用した職業相談を行う。

また、ハローワークの就職支援コーディネーターが、事業主に対する助言、求人の開拓等を行うとともに、求職者一人一人の課題に合わせ、就労・生活支援アドバイザーとでチーム支援を実施するため支援計画を作成し、当該計画に基づいた支援を行う。

併せて、地域の経済団体、支援機関、求人者、求職者などの関係者・当事者のニーズを踏まえた的確な職場実習・体験の機会を提供する。

＜具体的な取組＞

- ・専門担当者による職業相談、個別求人開拓、マッチング及び職業訓練情報の提供
- ・就職氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の情報提供及び応募勧奨
- ・就職氷河期世代を対象とした就職面接会の情報提供及び参加勧奨
- ・支援計画に基づく企業及び本人への定着支援の計画的な実施
- ・ハローワークと経済団体等を通じた、職場体験・実習の受入先事業所及び、ハローワーク等を通じた求職者が希望する職場体験・実習先事業所の把握・とりまとめ、進捗管理の実施
- ・就職支援コーディネーターによる就職氷河期限定求人・歓迎求人の確保を促進し、氷河期世代限定面接会を開催
- ・職場体験・実習（インターンシップ）に参加意欲のある求職者と受入先事業所とのマッチング向上を図る職場体験・実習説明会をオンライン等活用し開催
- ・就職後のオンライン相談や職場訪問を実施し、求職者だけでなく企業とも関係構築を図ることで、就職氷河期世代が抱える課題に対してより丁寧な支援を実施（令和5年度）

ウ ヤング・ジョブ・あいちにおける個別相談【愛知労働局・県】

若年者に対する総合就職支援施設として国と県が共同で運営する「ヤング・ジョブ・あいち」（ジョブカフェ）において個別相談を実施する。

＜具体的な取組＞

- ・キャリアコンサルタントや臨床心理士等を配置し、本人及びその家族からの多様なニーズに対応するための個別相談を実施

エ マザーズハローワーク及びママ・ジョブ・あいち等における個別相談

【愛知労働局・県】

出産、子育て等の様々な状況にある女性の就業を支援するため、国の「マザーズハローワーク」や県の「あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）」等において個別相談を実施する。

＜具体的な取組＞

- ・専門担当者による職業相談、マッチング機会、職業訓練情報及び就職支援セミナー情報の提供【愛知労働局】
- ・専門担当者による相談・カウンセリング及び就職支援セミナー等の実施【県】

オ 民間事業者のノウハウを活かした就職支援【愛知労働局・県】

民間事業者のノウハウを活用し、不安定な就労状態にある方の教育訓練、職場実習等を行うため、安定就職につなげる成果連動型の委託訓練など、社会人基礎力を補うための研修等を実施する。

<具体的な取組>

- ・民間職業紹介事業者等の創意工夫を活用したキャリアコンサルティング、就職セミナー、職業紹介や職場定着支援の実施【愛知労働局】（令和2・3・4年度）
- ・不安定な就労を余儀なくされている方や社会人経験の浅い方等に対し、就職に向けて社会人基礎力を補うための支援メニューを集中的に実施する就職支援講座や職場実習の開催【県】（令和2年度）
- ・非正規雇用、無業等の状態にある就職氷河期世代の求職者に対して、事前研修や紹介予定派遣制度を活用した短期間の職場実習の実施【県】（令和3・4・5年度）

(2) 雇用機会の拡大・正社員転換等の促進

ア 就職氷河期世代に特化した求人の拡大、マッチング機会の提供等【愛知労働局・中部経済産業局・中部地方整備局・中部運輸局・東海農政局・県・市町村・経済団体・労働団体・業界団体】

本県の厚い産業集積を活かし、就職氷河期世代を対象とした求人の拡大やマッチング機会の提供等に取り組むとともに、企業内での正社員転換を促進する。

また、同世代の積極的な採用に向け、県において地方公務員の中途採用に率先して取り組むとともに、市町村に実施を働きかける。

<具体的な取組>

- ・就職氷河期世代のマッチングを図る就職面接会等の開催【愛知労働局・中部経済産業局・中部地方整備局・中部運輸局・東海農政局・県・市町村・経済団体・業界団体】
- ・就職氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保や就職面接会等への積極的な参加の勧奨【愛知労働局・県・経済団体・業界団体】（再掲）
- ・中小企業等に対する就職氷河期世代を含む多様な人材の確保・活用を支援するセミナーの開催【中部経済産業局・県・経済団体・業界団体】
- ・就職氷河期世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な実施の働きかけ【愛知労働局・県・経済団体・労働団体】（再掲）
- ・地方公務員の中途採用について、県において受験資格の上限年齢の引上げ、経歴不問の中途採用試験の実施や対象者への一層の周知に取り組むとともに、市町村に実施を働きかけ【県】
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた求職者等を対象とする、地域別の就職面接会を開催。【愛知労働局・県・中部経済産業局】

イ 就職氷河期世代を対象とした助成金を活用した正社員雇用の促進【愛知労働局】

職業経験の不足等からの安定的な就職が困難な求職者等を雇い入れた事業主に支給する助成金や、就職後、企業内での実践的な訓練を実施する事業主に支給する

助成金の活用を通じて、正社員転換の促進を図る。

＜具体的な取組＞

- ・就職氷河期世代の正社員就職の促進
「特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース、成長分野等人材確保・育成コース）」及び一定期間試行雇用する事業主に対して助成する「トライアル雇用助成金」を広く周知し活用の促進を図る。
- ・有期契約労働者等に対する正社員転換の促進
有期契約労働者や派遣労働者等に対する正社員転換への促進を図るため、有期契約労働者等の企業内でのキャリアアップを促進する取組を実施した事業主に対し助成する「キャリアアップ助成金」を広く周知し活用の促進を図る。
- ・労働者に対する効果的な職業能力開発の促進
効果的な職業能力開発機会を提供するため、事業主等が雇用した労働者に対し職業訓練等を計画的に実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する「人材開発支援助成金」を広く周知し活用の促進を図る。

（3）職業訓練・リカレント教育の推進

ア 就業意欲の喚起【愛知労働局・県・支援団体】

セミナーや就業相談会等を実施することにより幅広い業種への就業意欲を喚起する。

＜具体的な取組＞

- ・職業相談時に個々人のニーズに合った職業訓練や就職支援セミナー等の情報提供【愛知労働局】
- ・不安定な就労を余儀なくされている方や社会人経験の浅い方等に対し、就職に向けて社会人基礎力を補うための支援メニューを集中的に実施する就職支援講座や職場実習の開催【県】（令和2年度）（再掲）
- ・非正規雇用、無業等の状態にある就職氷河期世代の求職者に対して、事前研修や紹介予定派遣制度を活用した短期間の職場実習の実施【県】（令和3・4・5年度）（再掲）
- ・林業への就業希望者に対する就業相談の機会の提供【愛知労働局・県】

イ 実践的な職業訓練の実施等による職業能力開発機会の提供

【愛知労働局・県・支援団体】

座学訓練と企業実習等を組み合わせた職業訓練を実施し、実践的な職業能力を付与することにより安定就労への円滑な移行を図る。

＜具体的な取組＞

- ・希望者ごとのニーズに沿った職場体験・実習等の開拓確保を図り、業界団体に委託し、訓練と職場体験を組み合わせ、正社員就職を支援する出口一体型訓練の実施【愛知労働局】（令和2・3・4年度）
- ・技能等を習得のうえ、就職に直結する資格を取得できる訓練の提供【支援団体】（令和2・3・4年度）

- ・就職氷河期世代のうち基礎レベル以上のITスキルを有する者を対象に、ITスキルアップ訓練と職場実習を組み合わせた雇成型訓練を実施【県】（令和3・4・5年度）
- ・職場体験等を通じた職業意識の啓発や、訓練受講意欲の喚起を行うため、座学に加え、企業実習やジョブカードによるキャリアコンサルティングを組み合わせた民間委託型職業訓練を実施【県】
- ・林業への就業1～3年目程度の現場技能者を対象とした安全訓練の実施【県】
- ・教育機関関係者等を対象としたリカレント教育についての理解を深めるためのフォーラムの開催【県】

ウ 安定就労に有効な資格習得等への支援【愛知労働局・県・支援団体】

安定就労につながる資格等を短期間で取得できる訓練を行う。

＜具体的な取組＞

- ・eラーニングなど、非正規雇用労働者や求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい訓練のため、夜間・土日などの訓練期間を柔軟に設定し、実施方法を工夫することにより、職場体験等と組み合わせた受講しやすい訓練を実施【愛知労働局】
- ・求職者支援訓練において、介護職員初任者研修や医療事務に関する資格等を短期間（2か月）で取得できる訓練コースや非正規雇用労働者等を対象とした短時間（1日3時間以上、月80時間以上）の訓練コースを設定・実施。また、「短期資格等習得コース」にて、資格取得と職場体験を組み合わせる正社員就職を支援する出口一体型の訓練も併せて実施【愛知労働局・雇用支援機構】
- ・介護福祉士や保育士、自動車整備士などの国家資格を取得し、正社員就職を目指す長期の民間委託型職業訓練を実施【県】
- ・就農希望者に対する就農前の研修期間に必要な資金の交付【県】（令和2・3年度）
- ・林業への就業を希望する者への安全教育など講習受講支援を行うとともに林業現場を学ぶ機会の提供【県】（令和3・4年度）
- ・林業就業のきっかけとなる体験研修を行うとともに、就業後速やかに資格取得等や安全教育を行い、即戦力となる新規林業就業者を育成【県】（令和5年度）
- ・新規林業就業者が就業に必要な用具一式や安全講習等に参加する経費について、雇用する企業に対して経費の一部を助成【県】

（4）多様な働き方への対応【愛知労働局・県】

働く方の希望に応じた柔軟な働き方を実現しつつ、雇用の安定を図る観点から、企業に対して従来の正社員以外の職種や勤務地、勤務時間などを限定した正社員やテレワークなど多様な働き方の導入を促して、不安定な就労状態にある方に活躍の場を提供する。

＜具体的な取組＞

- ・テレワーク導入にあたっての研修会等の周知【愛知労働局】

- ・従業員が個人・家庭の事情に合わせて働き続けることができる職場環境の整備を図るため、座学、テレワーク体験、個別相談等に対応したテレワーク・スクールを開催し、テレワークの普及、導入を促進【県】
- ・中小企業等へのテレワークに関する専門家の派遣や出張相談会を実施【県】（令和2年度）
- ・テレワークに関する相談、機器操作体験、情報提供等をワンストップで実施する「あいちテレワークサポートセンター」を設置し、中小企業等へのテレワークに関する専門家の派遣やテレワーク機器の貸出によるテレワークの試行支援、テレワーク体験が可能な「あいちテレワーク・モデルオフィス」の運営を実施【県】（令和3・4・5年度）

（5）職場定着への支援【愛知労働局・県】

就職・正社員化に結びついた方が安定して働き続けられる環境を整備するため、企業や本人への定着支援を実施するほか、就職後に企業内でサポートする人材（メンター等）を養成するための講座を開催するなど、離職防止や職場定着に向けた取組を支援する。

＜具体的な取組＞

- ・ハローワーク専門窓口において、支援計画に基づく企業及び本人への定着支援の計画的な実施【愛知労働局】（再掲）
- ・企業内で若者の指導・相談に対応できる人材の養成を支援する講座及び若者が定着する魅力ある職場づくりをテーマとしたシンポジウムの開催【県】（令和2・3年度）
- ・就職氷河期世代の社員等を対象とした社会人として仕事を行う上で必要とされるビジネススキルを習得できるセミナーの開催【県】（令和2・3年度）
- ・ICT等の活用により職場環境を改善し、若者の職場定着率が向上した企業の事例集を作成するとともに、企業経営者を対象としたセミナーの開催【県】（令和4・5年度）

3. 職業的自立の実現に向けた基盤整備に資する取組（長期にわたり無業の状態にある方への支援）

（1）相談体制の整備・充実【愛知労働局】

地域若者サポートステーションの取組強化

就職氷河期世代で長期にわたり無業の状態にある方が直面する、就職、職業的自立の実現に向けた困難さや複合的な課題を踏まえ、これまで概ね40歳未満の若年無業者等の自立支援拠点として実績を上げてきたサポステの専門的知見を積極的に活用し、対象年齢を49歳まで引き上げるとともに、「入口」となる福祉施策担当機関と連携を密にする。また、支援対象者を把握し働きかけを行い、支援を行う（サポステ・プラス）。

(2) 職業的自立への支援【愛知労働局・県】

サポステにおける専門的知見を積極的に活用し、「出口」となる就職に向け、ハローワークにおける就職支援・訓練プログラム、企業との連携強化を図ることで、就職・正社員化等の職業的自立につながる働き方の実現を推進する。

また、直ちに正社員就職に向けた活動が困難な方に対しては、アルバイト・パート、内職を始めとする在宅就業等の多様な働き方や職場体験を支援する。

その他、愛知県社会福祉協議会が実施している国家資格等の技能修得に係る取組を支援する。

<具体的な取組>

- ・ハローワークなど次の段階の就労支援機関との連携【愛知労働局】
- ・西尾市とハローワーク西尾において、「就職氷河期世代の就労支援に関する連携協定」を締結し、ハローワークと支援機関の担当者による月1回の定期的なミーティングを行い職業自立への支援を実施する。【愛知労働局】(令和3・4・5年度)
- ・サポステにおいて、地方自治体と協働し、就職氷河期世代の把握・働きかけのための福祉機関等へのアウトリーチ展開等の実施【愛知労働局】
- ・あいち労働総合支援フロア等において在宅就業(内職)相談及びあつ旋を実施【県】
- ・愛知県社会福祉協議会が、国家資格等の取得により自立した生活を目指す自立相談支援機関の利用者に対し、技能修得やその期間中の生計維持に必要な経費を貸し付ける生活福祉資金への補助【県】
- ・地域若者サポートステーションにおいて、メンタルヘルスに関する相談を実施【県】(令和3・4・5年度)

(3) 職場定着への支援【愛知労働局】

就労に結びついた方が働き続けられる環境を整備するため、ハローワークやサポステにおいて企業や本人への定着支援を実施する。

<具体的な取組>

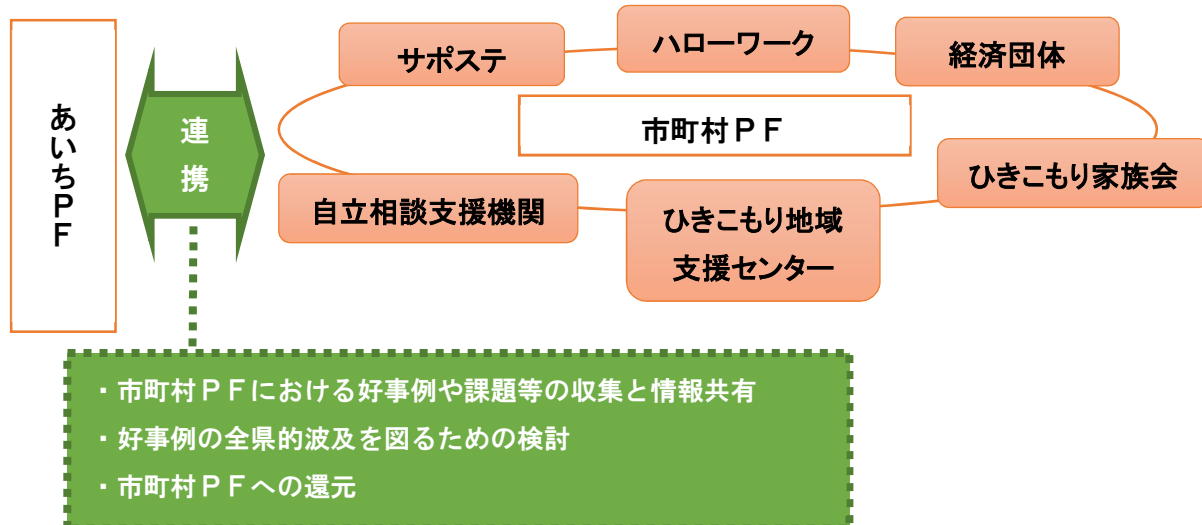
- ・サポステにおけるメールや電話等による就職後の定着サポート、仕事のステップアップ相談の実施

4. 社会参加の実現に向けた取組(社会参加に向けた支援を必要とする方への支援)

(1) 市町村PFとの連携【愛知労働局・県】

市町村PFにおける好事例や課題等を収集し、あいちPF内で情報共有し、課題の解決に向けた好事例の全県的波及を図るための必要な検討を行うとともに、市町村PFに還元する。

【参考】「市町村P F」の事業スキーム



(2) 相談支援体制の充実【県】

ア アウトリーチ支援員の配置等による生活困窮者自立支援事業(注)の充実

生活困窮者の社会的・経済的自立を図るために、町村域を所管する県福祉相談センターにおいて生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業及び家計改善支援事業を実施するとともに、未実施の市に対して実施を働きかける。

また、アウトリーチ支援員を県福祉相談センターに配置し、ひきこもり地域支援センターやサポステ等との連携強化を図り、多機関と連携して本人に寄り添った支援を実施する。

(注)生活困窮者自立支援法に基づき、福祉事務所設置自治体を実施する事業で、市域は各市が設置する福祉事務所が、町村域は県が設置する福祉事務所(県福祉相談センター)が所管している。

イ 市町村におけるひきこもり相談窓口の明確化と支援体制の充実

より身近な市町村において、ひきこもりに関する相談が受けられるよう、県精神保健福祉センター(あいちひきこもり地域支援センター)に市町村支援員を配置し、相談窓口の整備や市町村P F等に対する技術的支援を行う。

さらに、医療、法律、心理、福祉、就労支援等の多職種から構成されるチームを設置し、市町村支援員及び市町村に対する専門的アドバイスを行う。

(3) 本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供【県】

就労や求職活動を行うための動機付け・準備のために軽易な作業等の機会の提供等、個々人の状況に応じた支援を行う社会福祉法人等を県が認定する。

(4) 支援者の資質向上【県】

ア 生活困窮者自立支援事業の支援者への研修の実施

生活困窮者自立相談支援事業を円滑に進め、支援の充実が図られるよう、市及び

県福祉相談センターの支援者を対象に資質向上のための養成研修を実施する。

イ 市町村の支援者等を対象とした研修会の開催

市町村等における支援の充実が図られるよう、県精神保健福祉センター（あいちひきこもり地域支援センター）において、市町村等の支援者を対象に支援に必要な知識及び支援技術の習得に関する研修を実施する。さらに地域において、ひきこもりに関する理解が深まるよう、一般県民向け講演会を開催する。

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 | |
|---------------------------|-------------------|---|-------|---|--|--|--------|-------|------|---------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | | 令和6年度 |
| 1. 社会気運の醸成・効果的な周知広報に向けた取組 | | | | | | | | | | |
| | あいち就職氷河期世代応援宣言の周知 | あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームで採択した「あいち就職氷河期世代応援宣言」を広く周知する。 | — | <p>【愛知労働局】 愛知労働局就職氷河期特設HPへの掲載</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 企業向けメルマガで配信</p> <p>【（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 中日本支部HPへの掲載 愛知労働局ポスターの会員への送付</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク（バナー）を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 中部経済産業局HPへの掲載</p> <p>【中部地方整備局】 中部地方整備局HPへの掲載</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> <p>【東海農政局】 東海農政局HPへの掲載</p> | <p>【愛知労働局】 愛知労働局就職氷河期特設HPへの掲載</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 企業向けメルマガで配信 県内企業1万社への周知</p> <p>【（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 中日本支部HPへの掲載</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配付</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク（バナー）を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 中部経済産業局HPへの掲載</p> <p>【中部地方整備局】 中部地方整備局HPへの掲載</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成応援サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> <p>【東海農政局】 東海農政局HPへの掲載</p> | <p>【愛知労働局】 愛知労働局就職氷河期特設HPへの掲載</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 企業向けメルマガで配信 県内企業2万社への周知</p> <p>【（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 中日本支部HPへの掲載</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配付</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク（バナー）を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 中部経済産業局HPへの掲載</p> <p>【中部地方整備局】 中部地方整備局HPへの掲載</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成応援サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> <p>【東海農政局】 東海農政局HPへの掲載</p> | — | | | 全機関・全団体 |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 | | |
|-------------|--------------------------------------|--|-------|---|--|-------|--------|-------|------|-------|-------------------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | | 令和6年度 | |
| (1) 社会気運の醸成 | 就職氷河期世代限定求人・歓迎求人への開拓・確保や就職面接会等への参加勧奨 | 就職氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人への開拓・確保や、就職面接会等への積極的な参加の勧奨を行う。 | — | <p>【愛知労働局】 特設HP 記者発表（R3.1.28山覚めるall愛知の就職面接会） ハローワークでの開拓及び参加勧奨 LINE広告 厚生労働省Twitter等</p> <p>【県】 特設HPへ掲載 LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県商工会議所連合会・愛知県商工会連合会・愛知県経営者協会・愛知県中小企業団体中央会・（一社）愛知県建設業協会・（一社）日本自動車部品工業会中日本支部・刈谷機械工業協同組合・（一社）愛知県トラック協会・愛知県老人福祉施設協議会・（一社）愛知県警備業協会・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部・（一社）愛知県専修学校各種学校連合会・NPO法人ICDS・特定非営利法人なでしこの会】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配布</p> <p>【ICDS】 ホームページに就職氷河期世代支援バナー設置。SNSに職業訓練等チラシ配信。面談ブース内にチラシ設置。施設内にポスター掲示。地域職業的自立支援事業（臨床心理士、公認心理師による面談）を令和3年度から受託し、なごサポ・ちたサポにて実施。令和4年度も随契にてメンタルサポートを行う。 （なごサポ） 個別相談の際に就職面接会等参加勧奨。就職氷河期世代向けに、初心者用のPC講座を実施し、受講者へ事業を周知。 （ちたサポ） サポステ+の独自のポスターを作成してちた地域5市5町の市役所や役場に配布。サポステ+のポスター同じチラシを作成して出張相談先の市役所、役場、地域の社会福祉協議会、福祉課、生活支援課、保健センター、就労支援など連携先配布、追加設置。SNS（Facebook、Twitter）にチラシをアップ。各地域の会議に積極的参加をして周知徹底。HWのちたサポ掲示コーナーを作っていたり、階段の踊り場でのチラシ設置。対象者が多い社会福祉協議会には個別で担当に配布説明。 （岡崎市若者おいでんクラブ）就職面接会等チラシの施設内3ヶ所への掲示及びサークル等内での告知。 上記について、該当者に対する面談時の参加勧奨。</p> <p>【愛知県商工会連合会・愛知県経営者協会・愛知県中小企業団体中央会・（一社）愛知県建設業協会・刈谷機械工業協同組合・（一社）愛知県トラック協会・愛知県老人福祉施設協議会・（一社）愛知県警備業協会・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部・（一社）愛知県専修学校各種学校連合会・特定非営利法人なでしこの会】面接会等についての周知等HP他、会員への資料配布</p> <p>※限定求人・歓迎求人の募集は令和元年度に前倒して実施</p> | <p>【愛知労働局】 特設HP、Facebook、LINEを活用した事業周知</p> <p>【県】 特設HPへ掲載 LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県商工会議所連合会・（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配付</p> <p>【ICDS】 ホームページに就職氷河期世代支援バナー設置。SNSに職業訓練等チラシ配信。面談ブース内にチラシ設置。施設内にポスター掲示。地域職業的自立支援事業（臨床心理士、公認心理師による面談）を令和3年度から受託し、なごサポ・ちたサポにて実施。令和4年度も随契にてメンタルサポートを行う。 （なごサポ） 個別相談の際に就職面接会等参加勧奨。就職氷河期世代向けに、初心者用のPC講座を実施し、受講者へ事業を周知。 （ちたサポ） サポステ+の独自のポスターを作成してちた地域5市5町の市役所や役場に配布。サポステ+のポスター同じチラシを作成して出張相談先の市役所、役場、地域の社会福祉協議会、福祉課、生活支援課、保健センター、就労支援など連携先配布、追加設置。SNS（Facebook、Twitter）にチラシをアップ。各地域の会議に積極的参加をして周知徹底。HWのちたサポ掲示コーナーを作っていたり、階段の踊り場でのチラシ設置。対象者が多い社会福祉協議会には個別で担当に配布説明。</p> <p>【愛知県商工会連合会・愛知県経営者協会・愛知県中小企業団体中央会・（一社）愛知県建設業協会・刈谷機械工業協同組合・（一社）愛知県トラック協会・愛知県老人福祉施設協議会・（一社）愛知県警備業協会・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部・（一社）愛知県専修学校各種学校連合会・特定非営利法人なでしこの会】面接会等についての周知等HP他、会員への資料配付</p> | — | — | — | — | — | 愛知労働局・県・経済団体・業界団体 |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 |
|----|-----------------------|---|-------|---|--|--|--------|-------|-------|-------------------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| | 正社員転換の働きかけ | 就職氷河期世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な実施を働きかける。 | — | <p>【県・愛知労働局】 経済5団体への要請（6月） 県内企業2万社への要請（7月） 県内企業1万社への要請（11月） 県内企業2万社への要請（2月）</p> <p>【愛知労働局】 経済5団体への要請（12月）</p> <p>【愛知県経営者協会】 会報7月号掲載</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> | <p>【県・愛知労働局】 県内企業1万社への要請（6月）</p> <p>【愛知労働局】 経済5団体への要請（8月） 経済6団体への要請（11月）</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> | <p>【県・愛知労働局】 県内企業2万社への要請（5月）</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> | — | | | 愛知労働局・県・経済団体・労働団体 |
| | あいち就職氷河期世代応援宣言の周知（再掲） | あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームで採択した「あいち就職氷河期世代応援宣言」を広く周知する。 | — | <p>【愛知労働局】 愛知労働局就職氷河期特設HPへの掲載</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 企業向けメルマガで配信</p> <p>【（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 中日本支部HPへの掲載 愛知労働局ポスターの会員への送付</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク（バナー）を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 中部経済産業局HPへの掲載</p> <p>【中部地方整備局】 中部地方整備局HPへの掲載</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> <p>【東海農政局】 東海農政局HPへの掲載</p> | <p>【愛知労働局】 愛知労働局就職氷河期特設HPへの掲載</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 企業向けメルマガで配信 県内企業1万社への周知</p> <p>【（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 中日本支部HPへの掲載</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク（バナー）を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 中部経済産業局HPへの掲載</p> <p>【中部地方整備局】 中部地方整備局HPへの掲載</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成応援サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> <p>【東海農政局】 東海農政局HPへの掲載</p> | <p>【愛知労働局】 愛知労働局就職氷河期特設HPへの掲載</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 企業向けメルマガで配信 県内企業2万社への周知</p> <p>【（一社）日本自動車部品工業会中日本支部】 中日本支部HPへの掲載</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク（バナー）を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 中部経済産業局HPへの掲載</p> <p>【中部地方整備局】 中部地方整備局HPへの掲載</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成応援サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> <p>【東海農政局】 東海農政局HPへの掲載</p> | — | | | 全機関・全団体 |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 |
|-------------------------------|----------------------|--|--|---|--|---|----|--------|---------|---------|
| | | | | 第1ステージ | | | 評価 | 第2ステージ | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| (2) 就職氷河期世代、一人一人につながる積極的な周知広報 | ホームページやSNS等を活用した周知広報 | 広報誌、ホームページ、SNS等による周知を実施する。 | — | <p>【愛知労働局】 局HPに就職氷河期世代支援特設ページ開設(7月) 厚生労働省Twitter(2月)</p> <p>【県】 新聞広告(広報あいち8月2日号) LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県経営者協会】 労働局要請、職場実習・体験の受入れの協力依頼をホームページ掲載</p> <p>【(一社)愛知県トラック協会】 ■無料求人サイトの開設 https://aitokyo-job.jp/ ■人材確保対策特設サイトの開設 https://truckaichi.com/</p> <p>【(一社)愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載、会員への資料の配布</p> <p>【東海北陸厚生局】 局HPに該当サイトへのリンク(バナー)を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 ・局HPにてマッチングイベントの案内を掲載 ・令和3年度就職氷河期世代人材確保事業(委託先:株式会社人材企画)において、求職者に対し、ダイレクトメッセージにてマッチングイベントの案内を送付</p> <p>【中部地方整備局】 局HPに就職氷河期世代支援活躍支援PFのバナー及びリンク掲載 局及び愛知県内出先機関でポスター掲示</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> | <p>【愛知労働局】 局HPの就職氷河期世代支援特設ページ、Facebook、厚生労働省Twitterによる周知 就職氷河期支援LINE開設(6月)</p> <p>【県】 県特設HPへの掲載 LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県経営者協会】 労働局要請、職場実習・体験の受入れの協力依頼をホームページ掲載</p> <p>【(一社)愛知県トラック協会】 ■無料求人サイトの開設 https://aitokyo-job.jp/ ■人材確保対策特設サイトの開設 https://truckaichi.com/</p> <p>【(一社)愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載、会員への資料の配布</p> <p>【東海北陸厚生局】 東海北陸厚生局HPに該当サイトへのリンク(バナー)を設置 局内に宣伝ポスターを掲示</p> <p>【中部経済産業局】 ・令和4年度就職氷河期世代人材確保事業用HPにてマッチングイベントの案内を掲載。 ・上記イベントについて、委託先(株式会社人材企画)から求職者に対し、ダイレクトメッセージにてマッチングイベントの案内を送付。</p> <p>【中部地方整備局】 局HPに就職氷河期世代支援活躍支援PFのバナー及びリンク掲載 局でのポスター掲示 Facebookによるセミナー等の周知</p> <p>【中部運輸局】 「運輸・観光関係事業の人材確保・育成サイト」への掲載 運輸局内及び愛知県内の支局、事務所内におけるポスター掲示による周知</p> | — | — | — | 全機関・全団体 | |
| | コンビニ・スーパー等を活用した周知広報 | コンビニエンスストア・スーパーマーケット、図書館等を活用した広報を展開する。 | 県と包括協定を締結しているコンビニエンスストア・スーパーマーケットにおいてチラシ・ポスターを掲示 | <p>【愛知労働局・県】 コンビニ店舗・図書館等でポスター3,000枚を掲示(11月)</p> <p>【愛知労働局】 愛知県下の書店等(236店舗)に局HPのQRコード入りのしおりを50,000枚配布</p> | <p>【愛知労働局・県】 愛知県下のスーパーマーケットでポスターを掲示(10月)</p> | <p>【愛知労働局・県】 愛知県下のスーパーマーケットでポスターを掲示(4月)</p> | A | — | — | 愛知労働局・県 |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 |
|---------------------------------|-----------------------------------|--|--|---|---|---|--------|-------|-------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | |
| 2. 安定就職に向けた取組（不安定な就労状態にある方への支援） | | | | | | | | | |
| ア | 職業相談の充実 | 就職氷河期世代求職者の多様なニーズに対応できるように、相談窓口の充実と求人者へ直接働きかけ、限定求人・歓迎求人への開拓及び、当該就職氷河期世代の活躍の場の確保とマッチングを行う。必要に応じてオンライン職業相談を行う。 | ハローワークにおける職業紹介件数：17,110件 | 正社員への紹介件数：38,679件 | 正社員への紹介件数：38,879件 | 正社員への紹介件数：25,493件 (R4.12月末現在) | A | | 愛知労働局 |
| | 就職氷河期世代限定求人・歓迎求人への開拓・確保や就職面接会等の開催 | 就職氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人を開拓・確保するとともに、就職面接会等を開催する。 | — | 累計限定求人数：248人 累計歓迎求人数：9,844人 ●7月28日就職フェア（ハローワーク名古屋南） 参加企業5社・参加求職者数96人（うち4人就職） ●山覚めるall愛知の就職面接会 2月3月に県下全てのハローワークでコロナで就職が困難になっている方、就職氷河期世代を対象とした就職面接会を開催（1月28日：記者発表） 開催：12回 参加企業：160社 参加者数：887人 セミナー：3回 参加者数：114人 ●都道府県PFを活用した支援事業によるオンライン企業説明会 3月8・9・11・12日開催 参加企業：25社 参加者数：45人 ※限定求人・歓迎求人の募集は令和元年度に前倒して実施 | 累計限定求人数：617人 累計歓迎求人数：12,853人 ●5月27日WEB就職説明会（ハローワーク豊川）参加企業2社・参加求職者数5名（うち1名就職） ●10月15日就職相談会（ハローワーク名古屋東）参加企業2社・参加求職者数7名 ●12月16日就職氷河期世代応援!!ミニ面接会（ハローワーク春日井）参加企業7社・参加求職者数33名（うち2名就職） ●2月22日合同就職相談会（愛知労働局）参加企業5社・参加求職者数13名 | 累計限定求人数：354人 累計歓迎求人数：10,242人 ●5月17日ミニ就職面接会（ハローワーク豊橋）参加企業7社・参加求職者数49名（うち3名就職） ●7月6日ミニ面接会（ハローワーク春日井）参加企業6社・参加求職者数10名 ●9月22日就職支援フェアinいちのみや（ハローワーク一宮）参加企業21社・参加求職者数109名（うち4名就職） ●9月22日合同企業説明会（愛知労働局）参加企業24社・参加求職者数25名 (R4.12月末現在) | — | | 愛知労働局 |
| | 【R2新規】 | ハローワークの専門窓口において、支援計画に基づき、キャリアコンサルティングを行い、必要な能力開発策へのあつせん、及び職場実習の提案、求職者の適性・能力等を踏まえた求人開拓、就職後の定着支援などを計画的かつ総合的に実施する。 | 名古屋市内、尾張、西三河、東三河地区とエリア別のハローワーク内に専門窓口を設置し、氷河期支援の拠点として積極的に支援実施に取り組む。 | 令和元年10月に先行して名古屋中・名古屋南のハローワークに専門窓口を設置。令和2年2月13日には名古屋東・豊橋・豊田、令和3年2月16日に一宮に専門窓口を開設し、愛知労働局内に計6所設置 ※令和元年度に前倒して実施 | 愛知労働局内氷河期専門窓口計6所設置 新規求職者数：1,938人 相談件数：7,253件 就職件数：682人 | 愛知労働局内氷河期専門窓口計6所設置 新規求職者数：1,767人 相談件数：12,766件 就職件数：585人 (R4.12月末現在) | A | | 愛知労働局 |
| イ | ハローワーク専門窓口による支援 | 就職支援コーディネーターによる氷河期限定・歓迎求人開拓支援を拡充。職場体験・実習（インターンシップ）の新規受入先の開拓と既存の受入先の更新を行い、参加意欲のある求職者とのマッチングの向上を図る説明会をオンライン等を活用し開催する。また、就職後の定着支援についてオンライン相談や職場訪問を行うことで、より丁寧な支援を実施する。 | — | — | — | — | — | 愛知労働局 | |
| (1) 相談体制の整備・充実 | ウ | 若者職業支援センターの運営 | 相談件数：前年度実績の5%増 ※就職氷河期世代を含む | 相談件数：1,970件 | 相談件数：1,957件（前年度比0.7%減） | 相談件数：1,592件（前年同月比10.1%減） (R4.12月末現在) | C | | 県 |
| | | | | | | | | | |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 | |
|----|--|--|-----------------------------|---|--|---|--------|-------|-------|-------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | | 令和6年度 |
| エ | マザーズハローワークの運営 | 専門担当者による職業相談、マッチング機会と職業訓練情報の提供及び就職支援セミナー情報の提供を行う。 | 2(1)アの内数 | 2(1)アの内数 | 2(1)アの内数 | 2(1)アの内数 | A | | 愛知労働局 | |
| | あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）の運営 | 出産、育児等を機に離職した女性の再就職を支援するため、「あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）」を運営し、専門担当者による相談・カウンセリング及び就職支援セミナー等を実施する。 | 相談等件数：600件/年 ※就職氷河期世代を含む | 相談等件数：661件 | 相談等件数：654件 | 相談等件数：729件 (R4.12月末現在) | A | | 県 | |
| | 愛知県母子家庭等就業支援センターの運営 | 母子・父子家庭等の方の就業を促進するため、就業支援講習会の開催、就業情報の提供等を行う。 | 就業支援講習会の開催：20回 | 就業支援講習会：15回、248人 | 就業支援講習会15回、268人 | 就業支援講習会10回、158人 (R4.12月末現在) | B | | 県 | |
| オ | キャリアコンサルティング、就職セミナー、職業紹介や職場定着支援の実施 【R2新規】 <R4終了> | 民間職業紹介事業者の創意工夫を活用したキャリアコンサルティング、就職セミナー、職業紹介や職場定着支援を実施する。 | - | <ul style="list-style-type: none"> ■不安定就労者再チャレンジ支援事業として「就職に役立つビジネスパソコン科」を8月から開講 毎月4コース開講し、のべ139名参加。うち22名就職 ■都道府県 P F を活用した支援事業によるセミナーを対面及びオンラインを併用し開催 セミナー終了後に特設HPにてオンデマンド配信 2月19日企業向け 参加者数：16人 2月24日求職者向け 参加者数：60人 2月26日支援者向け 参加者数：17人 | <ul style="list-style-type: none"> ■不安定就労者再チャレンジ支援事業として「就職に役立つビジネスパソコン科」を7月から開講 毎月3コース開講し、のべ97名参加。うち21名就職 ■都道府県 P F を活用した支援事業によるセミナーを対面及びオンラインを併用し開催 セミナー終了後に特設HPにてオンデマンド配信 7月30日支援者向け 参加者数：22人 9月24日求職者向け 参加者数：12人 11月22日求職者向け 参加者数：54人 11月30日企業向け 参加者数：13人 1月19日求職者向け 参加者数：44人 1月21日引きこもり支援 参加者数：47人 | <ul style="list-style-type: none"> ■不安定就労者再チャレンジ支援事業として「就職に役立つビジネスパソコン科」を6月から開講 1か月と2か月の17コースを開講し、のべ75名参加。うち7名就職 ■都道府県 P F を活用した支援事業によるセミナーを対面及びオンラインを併用し開催 セミナー終了後に特設HPにてオンデマンド配信 8月26日支援者向け 参加者数：39人 9月2日求職者向け 参加者数：33人 (R4.12月末現在) | - | - | - | 愛知労働局 |
| | 就職支援講座、職場実習の実施 【R2新規】 <R2終了> | 不安定な就労を余儀なくされている方や社会人経験の浅い方等に対し、就職に向けて社会人基礎力を補うための支援メニューを集中的に実施する就職支援講座や企業での職場実習を実施する。 | 就職支援講座修了者の就職決定者数：3年間で30人 | 開催：8回 講座修了者数：104人 うち就職決定者数：9人 | - | - | c | - | - | 県 |
| | 紹介予定派遣制度を活用した就職支援 【R3新規】 | 非正規雇用、無業等の状態にある就職氷河期世代の求職者に対して、紹介予定派遣制度を活用した短期間の職場実習を行う。 | 正社員等での就職決定者：25名 | - | 正規雇用決定者数：39名 | 正規雇用決定者数：19名 (R4.12月末現在) | A | | 県 | |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 | |
|----|-----------|----------------------------------|-------|--|---|--|----|--------|------|---|
| | | | | 第1ステージ | | | 評価 | 第2ステージ | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 |
| | 就職面接会等の開催 | 就職氷河期世代のマッチングを図る面接会や企業説明会等を開催する。 | — | <p>【愛知労働局】 累計限定求人数：248人 累計歓迎求人数：9,844人</p> <p>●7月28日就職フェア（ハローワーク名古屋南）参加企業5社・参加求職者数96人（うち4人就職）</p> <p>●山覚めるall愛知の就職面接会 2月3月に県下全てのハローワークでコロナで就職が困難になっている方、就職氷河期世代を対象とした就職面接会を開催（1月28日：記者発表） 開催：12回 参加企業：160社 参加者数：887人 セミナー：3回 参加者数：114人</p> <p>●都道府県P Fを活用した支援事業によるオンライン企業説明会 3月8・9・11・12日開催 参加企業：25社 参加者数：45人（再掲）</p> <p>【県】 11月23日・24日 合同企業説明会（対面方式） 出展企業数：25社 参加者数：146人 就職決定者数：3人（再掲）</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 11月28日29日 氷河期世代を対象とした面接会を開催</p> <p>【中部地方整備局】 12月16日建設専門工事業合同体験フェア（職業体験等） ※コロナ厳重警戒レベル引き上げ（愛知県）に伴い中止</p> <p>【東海農政局】 愛知農林漁業就職フェア中止</p> <p>【中部経済産業局】 セミナー 10月21日・30日・11月2日(オンライン)参加企業：62社 マッチングイベント 1月16日(名古屋)・1月23日(石川)・2月6日(オンライン) 参加企業：76社 参加人数：97人 内定者数：3人</p> | <p>【愛知労働局】 累計限定求人数：617人 累計歓迎求人数：12,853人</p> <p>●5月27日WEB就職説明会（ハローワーク豊川）参加企業2社・参加求職者数5名（うち1名就職）</p> <p>●10月15日就職相談会（ハローワーク名古屋東）参加企業2社・参加求職者数12名（うち1名就職）</p> <p>●11月25日就職相談会（ハローワーク名古屋東） 参加企業2社・参加求職者数7名</p> <p>●12月16日就職氷河期世代応援!!ミニ面接会（ハローワーク春日井）参加企業7社・参加求職者数33名（うち2名就職）</p> <p>●2月22日合同就職相談会（愛知労働局）参加企業5社・参加求職者数13名</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 11月23日警備業合同就職面接会 参加企業：11社 参加求職者数：19人</p> <p>【中部地方整備局】 12月14日、15日第5回建設専門工事業合同体験フェア開催（職業体験等）参加者数：326人</p> <p>【東海農政局】 愛知農林漁業就職フェア中止</p> <p>【中部経済産業局】 ○2-（2）-ア「地域中小企業等人材確保支援事業（後述）」において実施。</p> <p>【（一社）愛知県トラック協会】 7月18日第1回愛知県トラック協会による就職相談会 参加企業：31社 参加求職者：300人 第2回3月20日開催予定</p> | <p>【愛知労働局】 累計限定求人数：354人 累計歓迎求人数：10,242人</p> <p>●5月17日ミニ就職面接会（ハローワーク豊橋）参加企業7社・参加求職者数49名（うち3名就職）</p> <p>●7月6日ミニ面接会（ハローワーク春日井）参加企業6社・参加求職者数10名</p> <p>●9月22日就職支援フェアinいちのみや（ハローワーク一宮）参加企業21社・参加求職者数109名（うち4名就職）</p> <p>●9月22日合同企業説明会（愛知労働局）参加企業24社・参加求職者数25名</p> <p>【（一社）愛知県警備業協会】 7月26日警備業合同就職面接会 参加企業：6社 参加求職者数：4名</p> <p>【中部地方整備局】 12月14日～16日、第6回建設専門工事業合同体験フェア開催（職業体験等）参加者数：520名</p> <p>【東海農政局】 10月19日あいち農林漁業就職フェア 参加企業：7社 参加求職者49名</p> <p>【中部経済産業局】 2-（2）-ア「地域中小企業人材確保支援等事業（後述）」において実施。 （R4.12月末現在）</p> | — | — | — | 愛知労働局・中部経済産業局・中部地方整備局・中部運輸局・東海農政局・県・市町村・経済団体・業界団体 |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | 実施主体 | |
|-----------------------|------------------------------|----------------------------------|-------|--|--|--|--------|------|-------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | | 令和5年度 |
| (2) 雇用機会の拡大・正社員転換等の促進 | ア 就職氷河期世代限定求人・歓迎求人への参加動奨(再掲) | 就職氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人への参加動奨(再掲) | — | <p>【愛知労働局】 特設HP 記者発表 (R3.1.28山覚めるall愛知の就職面接会) ハローワークでの開拓及び参加動奨 LINE広告 厚生労働省Twitter等</p> <p>【県】 特設HPへ掲載 LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県商工会議所連合会・愛知県商工会連合会・愛知県経営者協会・愛知県中小企業団体中央会・(一社)愛知県建設業協会・(一社)日本自動車部品工業会中日本支部・刈谷機械工業協同組合・(一社)愛知県トラック協会・愛知県老人福祉施設協議会・(一社)愛知県警備業協会・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部・(一社)愛知県専修学校各種学校連合会・NPO法人ICDS・特定非営利法人なでしこの会】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配布</p> | <p>【愛知労働局】 特設HP、Facebook、LINEを活用した事業周知</p> <p>【県】 特設HPへ掲載 LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県商工会議所連合会・(一社)日本自動車部品工業会中日本支部】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配付</p> <p>【ICDS】 ホームページに就職氷河期世代支援バナー設置。SNSに職業訓練等チラシ配信。面談ブース内にチラシ設置。施設内にポスター掲示。地域職業的自立支援事業(臨床心理士、公認心理師による面談)を令和3年度から受託し、なごサポ・ちたサポにて実施。令和4年度も随契にてメンタルサポートを行っていく。</p> <p>(なごサポ) 個別相談の際に就職面接会等参加動奨。就職氷河期世代向けに、初心者用のPC講座を実施し、受講者へ事業を周知。</p> <p>(ちたサポ) サボステ+の独自のポスターを作成してちた地域5市5町の市役所や役場に配布。サボステ+のポスター同じチラシを作成して出張相談先の市役所、役場、地域の社会福祉協議会、福祉課、生活支援課、保健センター、就労支援など連携先配布、追加設置。SNS (Facebook、Twitter) にチラシをアップ。各地域の会議に積極的参加をして周知徹底。HWのちたサポ掲示コーナーを作っていた、階段の踊り場でのチラシ設置。対象者が多い社会福祉協議会には個別で担当に配布説明。</p> <p>(岡崎市若者おいでんクラブ) 就職面接会等チラシの施設内3ヶ所への掲示及びサークル等内での告知。</p> <p>上記について、該当者に対する面談時の参加動奨。</p> <p>【愛知県商工会連合会・愛知県経営者協会・愛知県中小企業団体中央会・(一社)愛知県建設業協会・刈谷機械工業協同組合・(一社)愛知県トラック協会・愛知県老人福祉施設協議会・(一社)愛知県警備業協会・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部・(一社)愛知県専修学校各種学校連合会・特定非営利法人なでしこの会】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配布</p> | <p>【愛知労働局】 特設HP、LINEを活用した事業周知</p> <p>【県】 特設HPへ掲載 LINE、Twitter、facebookを活用した事業周知</p> <p>【愛知県商工会議所連合会・(一社)日本自動車部品工業会中日本支部】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配付</p> <p>【ICDS】 ホームページに就職氷河期世代支援バナー設置。SNSに職業訓練等チラシ配信。面談ブース内にチラシ設置。施設内にポスター掲示。地域職業的自立支援事業(臨床心理士、公認心理師による面談)を令和3年度から受託し、なごサポ・ちたサポにて実施。令和4年度も随契にてメンタルサポートを行っていく。</p> <p>(なごサポ) 個別相談の際に就職面接会等参加動奨。就職氷河期世代向けに、初心者用のPC講座を実施し、受講者へ事業を周知。</p> <p>(ちたサポ) サボステ+の独自のポスターを作成してちた地域5市5町の市役所や役場に配布。サボステ+のポスター同じチラシを作成して出張相談先の市役所、役場、地域の社会福祉協議会、福祉課、生活支援課、保健センター、就労支援など連携先配布、追加設置。SNS (Facebook、Twitter) にチラシをアップ。各地域の会議に積極的参加をして周知徹底。HWのちたサポ掲示コーナーを作っていた、階段の踊り場でのチラシ設置。対象者が多い社会福祉協議会には個別で担当に配布説明。</p> <p>【愛知県商工会連合会・愛知県経営者協会・愛知県中小企業団体中央会・(一社)愛知県建設業協会・刈谷機械工業協同組合・(一社)愛知県トラック協会・愛知県老人福祉施設協議会・(一社)愛知県警備業協会・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部・(一社)愛知県専修学校各種学校連合会・特定非営利法人なでしこの会】 面接会等についての周知等HP他、会員への資料配布</p> | — | — | — |
| | | | | | | | | | |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 |
|----|---------------------------------|--|-----------------------------------|---|---|--|--------|-------|-------|-----------------------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| | 企業向けセミナーの開催 【R2新規】 <R2終了> | 就職氷河期世代の雇用を促進するため、国の行政支援策等を説明する企業向けのセミナーを開催する。 | 開催：1回 参加企業：50社 | 開催：7回 参加企業：51社 | — | — | A | — | — | 県 |
| | 地域中小企業人材確保支援等事業 【R2新規】 | 関係機関との連携により、中小企業等が就職氷河期世代（主に不安定な就労状態にある方を対象）を確保・活用できるようにするためのセミナー及びマッチング事業を実施する。 | — | セミナー 10月21日・30日・11月2日(オンライン) マッチングイベント 1月16日(名古屋)・2月6日(オンライン) | ○本事業は株式会社人財企画へ委託し、以下内容を実施。 ・中部経済産業局管内の企業を対象に意識啓発セミナーを愛知県、石川県、オンラインで各1回、計3回開催、愛知県においては、10月1日に開催。 ・中小企業等と就職氷河期世代のマッチングイベントを中部経済産業局管内各県において計5回開催、愛知県においては、11月27日に開催。 ○中部経済産業局管内の中小企業等への就職氷河期世代人材確保事業（委託先：株式会社人財企画）を実施。 【事業内容】 ・中部経済産業局管内の企業を対象に意識啓発セミナーをオンラインで2回開催。 ・中小企業等と就職氷河期世代のマッチングイベントをリアル開催で2回（東海地域において1回、北陸地域において1回）、オンラインで1回開催。東海地域対象のイベントは11月19日に愛知県で実施。 | — | — | — | — | 中部経済産業局 |
| | 正社員転換の呼びかけ（再掲） | 就職氷河期世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な実施を働きかける。 | — | 【県・愛知労働局】 経済5団体への要請（6月） 県内企業2万社への要請（7月） 県内企業1万社への要請（11月） 県内企業2万社への要請（2月） 【愛知労働局】 経済5団体への要請（12月） 【愛知県経営者協会】 会報7月号掲載 【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料の配布 | 【県・愛知労働局】 県内企業1万社への要請（6月） 【愛知労働局】 経済5団体への要請（8月） 経済6団体への要請（11月） 【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料配付 | 【県・愛知労働局】 県内企業2万社への要請（5月） 【（一社）愛知県警備業協会】 協会HPへの掲載 会員への資料配付 | — | — | — | 愛知労働局・県・ 経済団体・労働団体 |
| | 地方公務員の中途採用 | 地方公務員の中途採用について、県において受験資格の上限年齢の引上げ、経歴不問の中途採用試験の実施や対象者への一層の周知に取り組むとともに、市町村に実施を働きかける。 | 就職氷河期世代を対象とした県職員の採用について、継続的に取り組む。 | 募集人数：約10人 受験者数：694人 合格者数：11人 | 募集人数：約10人 受験者数：407人 合格者数：10人 | 募集人数：約10人 受験者数：496人 合格者数：12人 (R4.12月末現在) | A | — | — | 県 |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 |
|----|--|---|----------------|---|--|--|--------|-------|-------|-----------------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| イ | 地域別就職面接会の開催 【R2新規】 | 新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた求職者等を対象に、地域別の就職面接会を開催する。 | — | 【県・愛知労働局】 開催：15回 参加企業：276社 参加者数：611人 就職者数：23人 【中部経済産業局】 セミナー 10月21日・30日・11月2日(オンライン)参加企業：62社 マッチングイベント 1月16日(名古屋)・1月23日(石川)・2月6日(オンライン) 参加企業：76社 参加人数：97人 内定者数：3人 | 【県・愛知労働局】 開催：10回 参加企業：229社 参加者数：769人 就職者数：41人 【中部経済産業局】 2-(2)-ア「地域中小企業人材確保支援等事業(前述)」において実施 | 【県・愛知労働局】(R4.12月末現在) 開催：9回 参加企業：188社 参加者数：581人 就職者数：2人 【中部経済産業局】 2-(2)-ア「地域中小企業人材確保支援等事業(前述)」において実施。 | — | | | 愛知労働局・県・中部経済産業局 |
| | 特定求職者雇用開発助成金 (就職氷河期世代安定雇用実現コース) 【R2新規】 | 新たに創設される「特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)」を活用した就職氷河期世代の正社員就職を促進するため、対象求人の確保、面接会の開催、助成金の周知等の取組を進める。 | 助成金支給実績：3,000件 | 令和2年2月新設(雇用後6ヶ月経過後の申請となる) 9件 | 50件 | 57件 (R4.12月末現在) | A | | | 愛知労働局 |
| | トライアル雇用助成金 | 安定的な就職が困難な求職者に対し一定期間試用する事業主を助成する「トライアル雇用助成金」について、より有効的に助成金制度の活用促進を図るための周知徹底に取り組む。 | | ※35歳以上55歳未満 147件支給(うち99件がトライアル雇用後常用雇用) | ※35歳以上55歳未満 132件支給(うち84件がトライアル雇用後常用雇用) | ※35歳以上55歳未満 37件支給(うち22件がトライアル雇用後常用雇用) (R4.12月末現在) | A | | | 愛知労働局 |
| | キャリアアップ助成金 | 有期契約労働者や派遣労働者等の企業内でのキャリアアップを促進する取組を実施した事業主に対し助成する「キャリアアップ助成金」を活用した、就職氷河期世代の有期契約労働者等に対する正社員転換を促進するため、助成金の周知等の取組を進める。 | | ※無期雇用化及び正社員化コース(2,340件) うち正社員化コースは2,068件 | ※無期雇用化及び正社員化コース(2,196件) うち正社員化コースは1,910件 | ※無期雇用化及び正社員化コース(2,620件) うち正社員化コースは2,255件 (R4.12月末現在) | A | | | 愛知労働局 |
| | 人材開発支援助成金 | 事業主等が雇用した労働者に対し職業訓練等を計画的に実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する「人材開発支援助成金」を活用した、効果的な職業能力開発の実施を促進するため、助成金の周知等の取組を進める。 | | 912件 | 877件 | 629件 (R4.12月末現在) | A | | | 愛知労働局 |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 |
|----|---------------------------|--|--------------------------|--|---|--|--------|-------|-------|--------------------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| ア | 就職支援講座、職場実習の実施（再掲） | 【R2新規】<R2終了> 不安定な就労を余儀なくされている方や社会人経験の浅い方等に対し、就職に向けて社会人基礎力を補うための支援メニューを集中的に実施する就職支援講座や企業での職場実習を実施する。 | 就職支援講座修了者の就職決定者数：3年間で30人 | 開催：8回 講座修了者数：104人 うち就職決定者数：9人 | — | — | C | — | — | 県 |
| | 紹介予定派遣制度を活用した就職支援（再掲） | 【R3新規】 非正規雇用、無業等の状態にある就職氷河期世代の求職者に対して、紹介予定派遣制度を活用した短期間の職場実習を行う。 | 事業参加者の正規雇用決定者数：25人 | — | 正規雇用決定者数：39人 | 正規雇用決定者数：19人 (R4.12月末現在) | A | | | 県 |
| | 農林漁業就職フェア等の開催 | 「農林漁業就職フェア」や農林水産業への就業希望者向け「業界の基礎知識」セミナー及び面接会を開催する。 | 開催：1回 参加企業：8社 | ※コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 | ※コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 | 10月19日「令和4年度 農林漁業就職フェア」 参加企業：7社・参加求職者数：49名 | B | | | 愛知労働局 |
| | 林業エリアガイドの実施 | 矢作川流域及び豊川流域の2箇所において、林業への就業希望者に対する企業による就業相談の機会を提供する。 | 参加者：20名 | 参加者：26名 | 参加者：54名 | 参加者：22名 | A | | | 県 |
| | 介護「就職フェア」専門ブースにおける就職相談の実施 | 愛知県社会福祉協議会人材センターが開催する「就職フェア」に専門ブースを出展し、介護分野への就職相談を実施する。 | — | 令和2年度は専門ブース出展なし | 令和3年度も専門ブース出展なし | 令和4年度も専門ブース出展なし | — | | | 業界団体（愛知県老人福祉施設協議会） |
| | 「特養ホーム一日体験」の実施 | 介護業界への理解を促進するため、介護施設における一日体験を実施する。 | — | ※コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 | ※コロナ禍のため一日体験実施中止。体験の代替として映画「ケアニン」オンライン鑑賞会を2月22日～2月28日ハローワーク名古屋中と共同開催 | ※コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 | — | | | 業界団体（愛知県老人福祉施設協議会） |
| | 実践的な技能等の習得に向けた訓練の実施 | 希望者ごとのニーズに沿った職場体験・実習等の開拓確保を図り、業界団体に委託し、訓練と職場体験を組み合わせ、正社員就職を支援する出口一体型訓練を実施する。 | — | 【（一社）愛知県警備業協会】 短期資格等習得コース（国家資格取得）10月23日-11月13日（10日間） 全国で実施される短期資格等習得コース事業をHPおよび資料で配布 他NPO法人日本情報技術取引所等（計6訓練実施機関）にて8コース開催 | 【（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会】他 短期資格等習得コース「自動車第二種免許等習得講座」他14コース開催 全国で実施される短期資格等習得コース事業をHPおよび資料で配布 | 【（一社）愛知県警備業協会】 短期資格等習得コース（国家資格取得）6月27日～7月22日（10日間） 全国で実施される短期資格等習得コース事業をHPおよび資料で配付 | — | | | 愛知労働局 |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 | | |
|---------------------|--|--|---|--|---|---|---|---|-------|------|---|--------------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | 令和6年度 | | | |
| (3) 職業訓練・リカレント教育の推進 | イ | デジタル人材を育成する雇用型訓練の実施 【R3新規】 | 就職氷河期世代のうち基礎レベル以上のITスキルを有する者を対象に、スキルアップ訓練と職場実習を組み合わせた雇用型訓練を実施する。 (令和3~4年度) 訓練修了者数: 10人 訓練修了者の就職決定数: 10人 (令和5~6年度) 訓練修了者の就職決定数: 15人 | — | 訓練修了者数: 10人 訓練修了者の就職決定数: 9人 | 訓練修了者数: 10人 訓練修了者の就職決定数: 7人 (R4.12月末現在) | C | → | | 県 | | |
| | | 日本版デュアルシステム対応型訓練の実施(雇用セーフティネット対策訓練の一部) | 非正規労働者などを対象として、座学に加え、企業実習やジョブカードによるキャリアコンサルティングを組み合わせた6か月間の民間委託型職業訓練を拡充して実施する。 | コース数: 23コース 受講者: 345人 就職率: 70% | コース数: 21コース 受講者: 282人 就職率: 81.9% | コース数: 33コース 受講者: 401人 就職率: -% | コース数: 20コース 受講者: 260人 就職率: -% (R4.11月末現在) | B | → | | 県 | |
| | | 林業安全技術訓練研修の実施 | 林業への就業1~3年目程度の現場技能者を対象に、木材の伐倒技術等の安全訓練を実施する。(5日間) | 参加者: 延べ40名 | 参加者: 延べ16名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の開催は3日間 | 参加者: 延べ38名 | 参加者: 延べ30名 | C | → | | 県 | |
| | | リカレントフォーラムの開催 【R2新規】 | 就職氷河期世代の就職・社会活動を支援するため、教育機関関係者等を対象にリカレント教育についての理解を深めるためのフォーラムを開催する。 | 開催: 1回 | 1月29日 参加者数: 73名(会場13名、オンライン60名) | 11月24日 参加者数: 96名(会場23名、オンライン73名) | 1月15日 参加者数: 166名(会場26名、オンライン140名) | A | → | | 県 | |
| | ウ | 職業能力等の習得に向けた訓練の実施 | 【R2新規】 | eラーニングなど、非正規雇用労働者や求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい訓練のため、夜間・土日などの訓練期間を柔軟に設定し、実施方法等を工夫することにより、職場体験等と組み合わせた受講しやすい訓練を実施する。 | — | セーフティネット(eラーニングコース2ヶ月)ワード・エクセル資格取得科 ・8月4日~9月30日コース他 計4コース開催 各コース定員: 15人 参加者数: 24人 | セーフティネット(eラーニングコース2ヶ月)ワード・エクセル資格取得科 ・8月3日~9月30日コース他 計34コース開催 各コース定員: 15人または20人 参加者数: 338人 | セーフティネット(eラーニングコース2ヶ月)eラーニングで学ぶワード・エクセル対策科 ・7月5日~8月30日コース他 計19コース開催 各コース定員: 15人または20人 参加者数: 216人 | — | → | | 愛知労働局 |
| | | | 【R2新規】 | 求職者支援訓練において、介護職員初任者研修や医療事務に関する資格等を短期間(2か月)で取得できる訓練コースや非正規雇用労働者等を対象とした短時間(1日3時間以上、月80時間以上)の訓練コースを設定・実施する。 | — | 【(株)ニチイ学館 名古屋支店】 2ヶ月で習得できる介護が楽しくなる!介護職員養成科 ・10月22日~12月21日開催 定員: 15人 応募: 17人 ・3月23日~5月21日開催 定員: 15人 応募: 29人 | 短期間/短時間コース 【(株)光フィールド】 ~就職に強い人材を育てる~介護初任者養成科 ・9月24日~11月23日開催他 計10コース 各コース定員: 15人~24人 応募: 152人(参加者数48人) | 短期間/短時間コース 【ライフパートナー東海通研修センター】 パソコンも学べる介護職員初任者研修科 ・4月25日~6月24日開催他 計8コース 各 コース定員: 9人~16人 応募: 87人(参加者数48人) | — | → | | 愛知労働局・雇用支援機構 |
| | | 長期高度人材育成コースの実施(雇用セーフティネット対策訓練の一部) | 非正規労働者などを対象として、介護福祉士や保育士、自動車整備士などの国家資格を取得し、正社員就職を目指す2年間の民間委託型職業訓練を実施する。 | コース数: 21コース 受講者: 180人 就職率: 70% | コース数: 22コース 受講者: 178人 就職率: 95.5% | コース数: 28コース 受講者: 195人 就職率: 94.6% | コース数: 27コース 受講者: 148人 就職率: -% (R4.11月末現在) | B | → | | 県 | |
| | | 農業研修期間の資金交付 <R3終了> | 就農希望者に対して就農前の研修期間に必要な資金を交付することにより新規就農を支援する。 | 交付対象者への資金交付: 100% | 交付対象者への資金交付: 100%(9人) | 交付対象者への資金交付: 100%(8人) | — | A | — | — | 県 | |
| | | 林業就業支援研修の実施 | 【R3新規】 | 林業への就業を希望する者への安全教育など講習受講支援を行うとともに林業現場を学ぶ機会を提供する。 | 参加者: 10名 | — | 参加人数: 14名 | 参加人数: 13名 | A | — | — | 県 |
| | | | 【R5見直し】 | 林業就業のきっかけとなる体験研修を行うとともに、就業後速やかに資格取得等や安全教育を行い、即戦力となる新規林業就業者を育成する。 | 参加者: 10名 | — | — | — | — | → | | 県 |
| 新規林業就業者支援の実施 | 新規林業就業者が就業に必要な用具一式や安全講習等に参加する経費について、雇用する企業が負担する経費の一部を助成する。 | 支援者数: 20名 | 支援者数: 1名 | 支援者数: 0名 | 支援者数: 4名 | C | → | | 県 | | | |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 | | |
|----------------|------------|--|--|--|---|--|--------|-------|---|-------|---|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | | 令和6年度 | |
| (4) 多様な働き方への対応 | テレワークの導入支援 | テレワーク導入にあたっての研修会等の周知を実施する。 | — | 局のホームページにて周知広報 オンラインテレワークセミナー (9/10)(11/11) | 厚生労働省HPにて周知広報 オンラインテレワークセミナー 6/23~11/24 計10回開催 | 委託事業特設HPにて周知広報 オンラインテレワークセミナー 6/28~11/25 計10回開催 | — | | | 愛知労働局 | |
| | | 従業員が個人・家庭の事情に合わせて働き続けることができる職場環境の整備を図るため、座学、テレワーク体験、個別相談等に対応したテレワーク・スクールを開催し、テレワークの普及、導入を促進する。 | 導入事例の紹介件数：10件 | 導入事例の紹介件数：10件 | 導入事例の紹介件数：10件 | — | A | | | 県 | |
| | | 中小企業等へのテレワークに関する専門家の派遣や出張相談会を実施する。 | — | 専門家派遣：99件 出張相談会：10回 (中小企業テレワーク導入支援事業として実施) | — | — | — | — | — | 県 | |
| | | テレワークに関する相談、機器操作体験、情報提供等をワンストップで実施する「あいちテレワークサポートセンター」を設置し、中小企業等へのテレワークに関する専門家の派遣やテレワーク機器の貸出によるテレワークの試行支援、テレワーク体験が可能な「あいちテレワーク・モデルオフィス」の運営を実施する。 | アドバイザー派遣 令和3年度：120件 令和4年度以降：135件 | — | アドバイザー派遣：127件 相談件数：1,310件 導入支援（企業訪問）：185件 モデルオフィス利用者数：1,417名 (R4.3月末現在) | アドバイザー派遣：110件 相談件数：1,198件 導入支援（企業訪問）：163件 モデルオフィス利用者数：1,748名 (R4.12月末現在) | A | | | 県 | |
| (5) 職場定着への支援 | 職場定着への支援 | ハローワークの専門窓口において、支援計画に基づき、キャリアコンサルティングを行い、必要な能力開発施策へのあっせん、及び職場実習の提案、求職者の適性・能力等を踏まえた求人開拓、就職後の定着支援などを計画的かつ総合的に実施する。(再掲) | 名古屋市内、尾張、西三河、東三河地区とエリア別のハローワーク内に専門窓口を設置し、氷河期支援の拠点として積極的に支援実施に取り組む。 | 令和元年10月に先行して名古屋中・名古屋南のハローワークに専門窓口を設置。令和2年2月13日には名古屋東・豊橋・豊田、令和3年2月16日に一宮に専門窓口を開設し、愛知労働局内に計6所設置 ※令和元年度に前倒して実施 | 愛知労働局内氷河期専門窓口計6所設置 新規求職者数：1,938人 相談件数：7,253件 就職件数：682人 | 愛知労働局内氷河期専門窓口計6所設置 新規求職者数：1,767人 相談件数：12,766件 就職件数：585人 (R4.12月末現在) | A | | | 愛知労働局 | |
| | | 就職支援コーディネーターによる氷河期限定・歓迎求人開拓支援を拡充。職場体験・実習（インターンシップ）の新規受入先の開拓と既存の受入先の更新を行い、参加意欲のある求職者とのマッチングの向上を図る説明会をオンライン等を活用し開催する。また、就職後の定着支援についてオンライン相談や職場訪問を行うことで、より丁寧な支援を実施する。(再掲) | — | — | — | — | — | | | 愛知労働局 | |
| | | 企業内で若者の指導・相談に対応できる人材の養成を支援する講座及び若者が定着する魅力ある職場づくりをテーマとしたシンポジウムを開催する。 就職氷河期世代の社員等を対象とした社会人として仕事を行う上で必要とされるビジネススキルを習得できるセミナーを開催する。 | 若手社員向けセミナー（35～45歳）開催：1回 参加者数30人 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度事業中止 | 若手社員向けセミナー開催 2回、参加者数：120人 | 若手社員向けセミナー開催 2回、参加者数：63人 | — | A | — | — | 県 |
| | | 職場環境改善等の取組を実施し、若者の職場定着率が向上した企業のセミナー等を開催する。 | 令和4年度： 経営者啓発セミナー 開催：2回 参加者数：60名 令和5年度以降： 経営者啓発セミナー 開催：1回 参加者数：40名 | — | — | 若者職場定着支援サポーター養成講座開催 2回、参加者数：120人 | — | — | 若者職場定着優良事例集の作成 (2月予定) 若者職場定着経営者啓発セミナー開催 2回(2月予定) | — | |

あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 工程表

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | | 実施主体 |
|--|---------------------|---|--|---|---|--|--|-------|-------|-------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | 令和6年度 | |
| 3. 職業的自立の実現に向けた基盤整備に資する取組（長期にわたり無業の状態にある方への支援） | | | | | | | | | | |
| (1) 相談体制の整備・充実 | 地域若者サポートステーションの取組強化 | 地域若者サポートステーションの専門的知見を積極的に活用し、対象年齢を49歳まで引き上げるとともに、「入口」となる福祉施策担当機関と連携を密にする。また、支援対象者を把握し働きかけを行い、支援を行う。 | 新規求職者申込件数：530件 | 新規登録者：598人 就職件数：356人 定着支援：1,945人 ※システム上氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の人数となっている。 | 新規登録者：791人 就職件数：458人 定着支援：1,926人 ※システム上氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の人数となっている。 | 新規登録者：512人 就職件数：404人 定着支援：1,460人 ※システム上氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の人数となっている。（R4.12月末現在） | A | | | 愛知労働局 |
| | | 地域若者サポートステーションを活用したメンタルヘルス相談の実施 | 来所した就職氷河期世代のうち、就労又は社会参加につながった数：50名 | — | 相談件数：389件 就労又は社会参加につながった数：103人 | 相談件数：351件 就労又は社会参加につながった数：92人 （R4.12月末現在） | A | | | 県 |
| (2) 職業的自立への支援 | サポステと就労支援機関との連携 | サポステの専門的知見を積極的に活用し、「出口」となる就職に向け、ハローワークにおける就職支援・訓練プログラム、企業との連携強化を図ることで、就職・正社員化等の職業的自立につながる働き方の実現を推進する。 | — | サポステとの連携強化のためハローワーク見学ツアーを開催 11月18日 8名参加 | サポステとハローワークとの連携強化ため毎月定例会にて意見交換を実施 | 8月18日 一宮市・いちのみや若者サポートステーション・ハローワーク一宮・愛知労働局の意見交換 12月21日 「令和4年度地域若者サポートステーションに係る市町村会議」三河会場 12月23日 「令和4年度地域若者サポートステーションに係る市町村会議」尾張会場 | — | | | 愛知労働局 |
| | 基礎自治体との連携 | 就職氷河期世代の就労支援に関する連携協定 | — | — | 西尾市と1月28日連携協定締結 | 毎月、ハローワーク西尾と西尾市子ども・若者総合相談センター「コンパス」で定期ミーティングを実施 | — | | | 愛知労働局 |
| | 在宅就業（内職）相談及び内職のあっ旋 | あいち労働総合支援フロア、西三河・東三河県民相談室、14市において、在宅就業（内職）相談及び内職あっ旋を実施する。 | 県内31箇所実施 | 県内31箇所実施 相談件数：15,158件 | 県内31箇所実施 相談件数：16,143件 | 県内31箇所実施 相談件数：11,500件 | A | | | 県 |
| | 生活福祉資金貸付事業 | 愛知県社会福祉協議会が、国家資格等の取得により自立した生活を旨とする自立相談支援機関の利用者に対し、技能修得やその期間中の生計維持に必要な経費を貸し付ける生活福祉資金への補助を行う。 | 県内全域での実施 | 補助額 43,491,375円 ※氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の金額となっている。 | 補助額 40,004,125円 ※氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の金額となっている。 | 補助額 40,029,000円を愛知県社会福祉協議会に交付決定済 ※氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の金額となっている。 | A | | | 県 |
| | 職場定着への支援 | 職場定着への支援 | サポステにおいて、メールや電話等による就職後の定着サポートや仕事のステップアップ相談を実施する。 | 県内全てのサポステにおいて実施 | 定着支援：計1,945件 ※システム上氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の人数となっている。 | 定着支援：計1,926件 ※システム上氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の人数となっている。 | 定着支援：計1,460件（R4.12月末現在） ※システム上氷河期世代のみの計上は不可のため、全体の人数となっている。 | A | | |

| 項目 | 取組 | 取組の概要 | K P I | 実施年度 | | | | | 実施主体 | |
|---|----------------------------|---|---|---|---|--|--------|-------|------|---------|
| | | | | 第1ステージ | | | 第2ステージ | | | |
| | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 評価 | 令和5年度 | | 令和6年度 |
| 4. 社会参加の実現に向けた取組（社会参加に向けた支援を必要とする方への支援） | | | | | | | | | | |
| (1) 市町村PFとの連携 | 市町村PFとの連携 | 市町村PFにおける好事例や課題等を収集し、あいちPF内で情報共有し、課題の解決に向けた好事例の全県的波及を図るための必要な検討を行うとともに、市町村PFに還元する。 | 市町村プラットフォーム設置主体による情報共有・事例報告会の開催：年1回 | 【事例報告会】 11月12日 三河地域 13日 尾張・海部・知多地域 (PF事務局担当者 計31名) | ・好事例及び地域課題の共有（書面・1月） ・第6回あいちPFにて市町村PFの取組を共有 | ・好事例及び地域課題の共有（書面・12月） ・市及び県（町村部を所管）の相談支援員を対象とした合同実践研修にて事例の共有、報告、検討を実施 | B | | | 愛知労働局・県 |
| (2) 相談支援体制の充実 | ア 生活困窮者自立支援事業の充実 【R2新規】 | 町村域において、就労が困難な生活困窮者に対する就労に向けた支援や、家計に様々な課題を抱える生活困窮者に対する家計管理能力の改善に向けた支援を実施するとともに、未実施の市に対して実施の働きかけを行う。 | 未実施市への働きかけによる県内全域における実施 | 【県】 支援対象者 ・就労準備支援事業：24名（新規支援者数） ・家計改善支援事業：66件（相談件数） 【市】 実施市数 ・就労準備支援事業：21市 ・家計改善支援事業：18市 ※会議での実施働きかけ 10月16日 市町村福祉担当課長会議 11月12・13日 事例報告会 | 【県】 支援対象者 ・就労準備支援事業：37名（新規支援者数） ・家計改善支援事業：69件（相談件数） 【市】 実施市数 ・就労準備支援事業：28市 ・家計改善支援事業：27市 ※市への実施働きかけ ・市に対し通知（7月） ・一部市においてコンサルティング活用（国委託事業） | 【県】 支援対象者（R4.12月末現在） ・就労準備支援事業17名（新規支援者数） ・家計改善支援事業：62件（相談件数） 【市】 実施市数 ・就労準備支援事業：35市 ・家計改善支援事業：32市 ※市への実施働きかけ ・市に対し通知（7月） | B | | | 県 |
| | イ 市町村ひきこもり対策への支援 【R2新規】 | より身近な市町村において、ひきこもりに関する相談が受けられるよう、県精神保健福祉センター（あいちひきこもり地域支援センター）に市町村支援員を配置し、相談窓口の整備や市町村PF等に対する技術的支援を行う。さらに、医療、法律、心理、福祉、就労支援等の多職種から構成されるチームを設置し、市町村支援員及び市町村に対する専門的アドバイスをを行う。 | 県内全市町村でのひきこもり相談窓口の明確化 | 【市町村支援事業】 県保健所と連携し、37市へのヒアリングを実施 【個別支援会議への参画】2件 【多職種専門チーム】 5月：設置 11月13日：検討会議開催 | 【市町村支援事業】 県保健所と連携し、16町村へのヒアリングを実施 ※新型コロナウイルス感染拡大のため1町は令和4年度訪問 【個別支援会議への参画】2件 【多職種専門チーム】 5月14日：検討会議開催 | 【市町村支援事業】 県保健所と連携し、自治体の相談窓口へのヒアリングを実施 32窓口（22市）訪問 【個別支援会議への参画】2件 【多職種専門チーム】 6月17日：検討会議開催 | B | | | 県 |
| (3) 本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供 | 就労訓練事業所の認定 | 就労や求職活動を行うための動機付け・準備のために軽易な作業等の機会の提供等、個々の状況に応じた支援を行う社会福祉法人等を県が認定する。 | 就労訓練事業所の認定制度の周知 | 就労訓練事業所認定件数：329件 ※会議での周知 11月12・13日 事例報告会 | 就労訓練事業所認定件数：354件 ※周知活動 ・第6回あいちPFで周知 ・名古屋商工会議所及び愛知県老人福祉施設協議会の会員向け広報（団体の協力をいただいたもの） | 就労訓練事業所認定件数：375件 (R4.12月末現在) | A | | | 県 |
| (4) 支援者の資質向上 | ア 生活困窮者自立支援員養成研修 | 生活困窮者自立相談支援事業を円滑に進め、支援の充実を図れるよう、県内の生活困窮者自立支援事業における支援者の資質向上のための養成研修を実施する。 | 養成研修の実施：年3回 | 【基本実務者研修】 6月30日、35名 【主任相談支援員養成研修】 11月25日・26日、13名 【相談支援員・就労支援員養成研修】 2月16・17日、23名 | 【基本実務者研修】 7月9日、54名 【主任相談支援員養成研修】 11月29日・30日、17名 【相談支援員・就労支援員養成研修】 令和4年2月17日・18日、25名 | 【基本実務者研修】 7月4日、39名 【相談支援員等合同実践研修】 8月29日、31名 【主任相談支援員養成研修】 11月29日・30日、10名 【相談支援員・就労支援員養成研修】 令和5年2月(2日間)、30名程度見込 | A | | | 県 |
| | イ ひきこもり相談対応者研修 【R2新規】 | 市町村等における支援の充実を図れるよう、県精神保健福祉センター（あいちひきこもり地域支援センター）において、市町村等の支援者を対象に支援に必要な知識及び支援技術の習得に関する研修を実施する。さらに地域において、ひきこもりに関する理解が深まるよう、一般県民向け講演会を開催する。 (下線はR5年度～) | (令和2～4年度) 基礎研修、専門研修の実施：各年1回 (令和5～6年度) 基礎研修、専門研修及び一般県民向け講演会の実施：各年1回 | 11月6日 基礎研修・専門研修開催（1回） 参加者54名 ※新型コロナウイルス感染拡大のため基礎研修、専門研修を兼ねて実施 | 10月7日 基礎研修・専門研修開催（1回） 参加者：98名 ※新型コロナウイルス感染拡大のため基礎研修、専門研修を兼ねて実施 研修資料を作成、市町村へ配布 | 10月3日 基礎研修開催（1回） 参加者：50回線 10月4日 専門研修開催（1回） 参加者：46名 | A | | | 県 |